

赤い羽根募金・歳末助け合い募金にご協力をお願いします

募集期間 10月1日～12月31日

赤い羽根募金は誰でも参加できる《福祉参加の機会》です。

この運動は昭和22年から続いており、豊田市では今年も区長様や組長様にご協力
 いただいて赤い羽根募金と歳末助け合い募金を同時に募集させていただきます。

お寄せいただいた募金は、高齢者の福祉・児童の福祉・障がいのある方の福祉・
 地域の福祉のために使われます。

皆様のあたたかいご協力をよろしくお願いします。



平成25年度 赤い羽根共同募金実績額

41,430,189円

赤い羽根募金…30,170,879円 歳末助け合い募金…11,259,310円

平成26年度 赤い羽根共同募金目標額

45,000,000円

赤い羽根募金…33,241,000円 歳末助け合い募金…11,759,000円

<募金の使い道>

- 心配ごと相談事業
- 福祉健康フェスティバルの開催
- ボランティアセンター事業
- 長寿祝品贈呈事業
- 消火具支給事業
- 生活困窮世帯の支援 など



赤い羽根 街頭募金の様子

* ご協力いただいた募金の内、下記の金額を超える寄付金は控除の
 対象となり、「領収書」により税制上の優遇措置を受けることが
 できます(詳細は国税庁などにご確認ください)。

●2,000円…所得税の寄付金控除 ●2,000円…個人住民税の寄付金控除

* 領収書をご希望の方は、事前にお問い合わせください。

<問合せ>

豊田市共同募金委員会 34-1131

豊田市社会福祉協議会の理念・経営方針

理 念

私たちは、地域住民と協働して社会福祉事業を進め、子供から高齢者まですべての人々がともに助け合
 い、安全で安心して暮らすことができるぬくもりのあるまちづくりをめざします。

経営方針

- (1)福祉関係者との連携を密にし、積極的に地域福祉を推進します。
- (2)愛と思いやりをもって質の高い福祉サービスを提供します。
- (3)住民(会員)の期待に応えられるよう提案型の事業経営を行います。

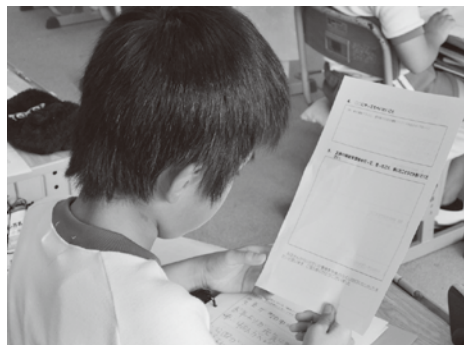
思いやり いつでもどこでも 誰にでも



住民懇談会に、地元の児童生徒も参加してくれました！

豊田市社会福祉協議会では、地域福祉活動計画の策定に向けて、多くの市民の参加をいただくことを目的に「地区住民懇談会」を実施しています。地区によっては大人だけでなく児童生徒も積極的に意見交換に参加し、将来を担っていく子どもたちの貴重な意見を知る機会とすることができました。

◇ 福祉学習会を開催しました ～ 考えよう 僕たち私たちのまち ～



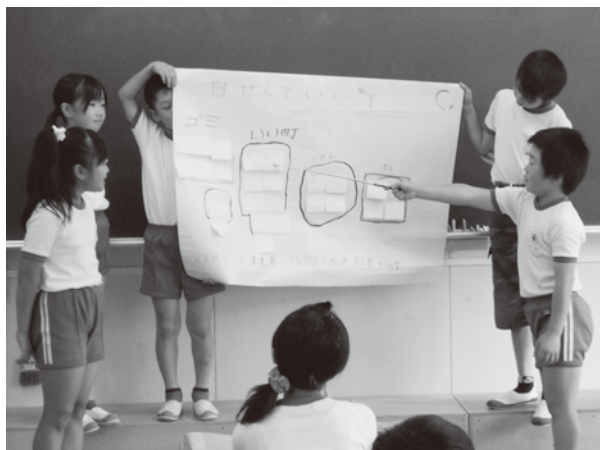
稲武地区の稲武小学校では、4年生児童15名が、6月26日(木)の5時限目・7月9日(水)の4時限目の2回にわたり「ふるさと学習」の一環で地域を学び、今の稲武を振り返るとともに、将来の稲武地区に望むこと等を話し合いました。

また、稲武中学校では、全校生徒57名が一堂に会し、7月4日(金)の5時限目・16日(水)の4時限目の2回にわたり教育活動の一環として地域福祉を学ぶとともに、地域の現状を確認し合いながら、今の自分に何ができるのか、地域のみなさんに何を期待しているのか等について、グループごとに積極的な意見交換が行われました。

テーマ

- ①私たちの住んでいるまちの自慢できるところ
- ②私たちの住んでいるまちの心配なところ
- ③私が住んでいるまちがこんなまちになったらいいな
- ④私たちが望むまちを実現するためにどんなことができるだろう

この学習会の内容は『子どもたちの想い』として、稲武地区の第2回住民懇談会でも報告され、参加者にとっては将来を期待する子どもたちのために今一度地域を見つめ直すきっかけとなりました。



稲武小学校4年生児童からの想いの報告



稲武中学校での真剣なグループ討議

「地域ふれあいサロン」は近隣住民のふれあいの場づくりを目指した事業です。

地域ふれあいサロンに子どもたちが学習に来てくれました！

社協足助支所事業のご紹介

足助小学校3年生の児童13名が足助地区の地域ふれあいサロンを訪問し、福祉の学習をしました。

子どもたちは、総合的な学習の時間で「お年よりのまち みんなのまち足助」をテーマに、交流を通して自分たちにできることを考えようと、1年を通して学習しています。

最初は、お互い緊張していましたが、子どもたちの考えたゲームなどを進めるうちに、徐々に会話がはずむようになりました。

ふれあいサロンのみなさんもあたたかく迎え入れ、子どもたちの質問に笑顔で答えてくださいました。



地域ふれあいサロンでの交流の様子

平成25年度 事業報告および決算報告

●地域福祉の推進

地域福祉活動計画策定に当たっては、「地域密着型福祉全国セミナーin豊田」の開催による地域福祉の機運づくりや、住民本位の計画づくりのために、全ての中学校区での住民懇談会の企画、開催等を行い、多くの住民、団体と協働を図りました。

●相談・支援体制の充実

地域の潜在化した生活課題について、住民参加による小地域福祉活動や民生委員・児童委員活動、その他の本会のネットワークや日々の活動から情報把握を行い、関係機関等と連携し課題解決を図りました。

また、障がい者(児)の福祉サービスに関する総合的な相談業務を行うと共に、相談窓口を増やす等体制整備を行いました。

●在宅福祉サービスの充実

介護保険法の改定に対応したサービス提供内容の検討を継続し、利用者ニーズと経営感覚のバランスの取れた質の高いサービスの提供に努め、収支の改善を図りました。また、介護事業に携わる人材の育成とサービスの質の向上のために、各種研修会の開催や法令遵守の徹底を図りました。

収入

区 分	決算額	説 明
補助金・受託金	629,847	市・県社協からの補助金・委託金
介護保険事業	597,751	介護報酬収入、利用者負担金収入等
総合支援法等収入	174,583	総合支援法事業利用料収入等
利用料	6,419	利用者負担金
共同募金配分金	37,369	共同募金の配分金
会費	27,825	世帯会費、法人会費等
負担金	7,973	市負担金・日赤負担金等
寄附金	10,596	一般寄付金、指定寄付金
事業収入	7,353	事業利用料・作業収入等
貸付事業等	4,122	貸付償還金収入
雑収入	126,333	受取利息収入等
前期末支払資金残高	546,217	
計	2,176,388	

支出

区 分	決算額	説 明
法人運営事業	201,934	法人運営、支所運営
地域福祉事業	78,831	自治区福祉活動助成、ボランティアセンターの運営等、相談事業、福祉人材育成
在宅福祉事業	226,636	車椅子貸出、権利擁護事業、ふれあい通所事業等
施設管理運営	367,010	各施設の管理運営
資金貸付事業	11,045	生活福祉資金、ひまわり資金貸付事業
介護保険事業	575,137	【高齢者】ホームヘルプ、デイサービス事業等
総合支援法事業	166,295	【障がい者】ホームヘルプ、デイサービス事業等、精神障がい者作業所
計	1,626,888	

※単位：千円

※内部の資金移動分を除く

※収支差額は次年度に繰り越す

【豊田市社会福祉協議会連絡先一覧】

●総務課 34-1131
 ●地域福祉サービスセンター ... 32-4341
 ●障がい者総合福祉会館 34-2940
 ●旭支所 68-3890
 ●稲武支所 82-2068
 ●下山支所 90-4005

●地域福祉課 31-1294
 ●基幹包括支援センター 63-5279
 ●豊寿園 27-2200
 ●足助支所 62-1857
 ●小原支所 65-3350
 ●藤岡支所 76-3606

福祉健康フェスティバルを開催します！！

- ◆日時 平成26年11月9日(日) 午前9時45分～午後2時
- ◆場所 豊田市福祉センター
- ◆内容 スタンプラリー、医療・福祉生活相談、健康チェック、社会福祉協議会登録ボランティアグループの活動紹介・体験コーナー、福祉団体の手作り品バザー、食べ物コーナー、医療・介護の各種ロボットのデモ・展示、東日本大震災被災地支援物産展、産地直送三陸沖サンマ無料試食、お楽しみアトラクション 等



体験ボランティアの様子

<問合せ> 豊田市社会福祉協議会 地域福祉課 31-1294

おめでとうございます!! 85歳以上の方に長寿祝品を贈呈しました

今年も、敬老の日に合わせて、市内の85歳以上の方※に長寿祝品(豊田産のお茶)を贈呈しました。

この事業は、長寿をお祝いし、祝品を贈呈することにより高齢者の皆様にさらに元気で長生きする意欲を持っていただくとともに、ご家族や地域全体で高齢者を見守る気持ちを育て、大切にしていきたいという目的で行っています。

贈呈には各地域の民生委員の皆様にご協力いただき、対象となる高齢者の方、お一人ずつに声をかけながら手渡ししていただきました。

高齢者の皆様、本当におめでとうございます。そして、いつも、ありがとうございます。

※今年度は、平成26年9月1日現在、豊田市の住民基本台帳の登録があり、平成26年12月31日までに85歳以上になられる方を対象として贈呈しました。

ボランティア情報交換会を開催しています



ボランティア情報交換会の様子

偶数月の下旬にボランティアの方々への情報提供等と情報交換会を開催しています。ボランティア活動をしている方、ボランティアに関心のある方はどなたでも参加できます。申込み不要・参加費無料ですので、お気軽にお越しください。会場は豊田市福祉センターや各交流館です。日時・会場等の詳細については下記問合せまでご連絡ください。

みなさんで日頃の活動の悩みを話し合い、喜びを分かち合い、活動の幅を広げてみませんか？

<問合せ> 豊田市社会福祉協議会 ボランティアセンター 31-1294

ありがとうございます (平成26年4月1日～6月30日までの寄付者一覧)

順不同、敬称略。掲載名は寄付者の意向に準拠

【社会福祉協議会への寄付】

小池鈴子、タイマッサージはっとな、築瀬国男、平成25年度井郷交流館講座受講生、豊田柴田工業松田一雄、アステ花水木の会、豊田市高年大学十二期生一同、水野正義、増田町子、香西洋子、岡本修司、あいち豊田農業協同組合、豊田産業平山サービスステーション、セウチダンススクール、豊田シルバー・レク・フォークダンスの会、岩瀬歌謡教室、JAあいち豊田サービス、豊田南高校

【豊田善意銀行への寄付】

丸和電子化学黄レンジャーサークル、野見山住人、トヨタテクニカルディベロップメント、すまいる演歌同好会

【東日本大震災義援金への協力】

はあとボランティア、よつば会、青木自治区ふれあい花見の会、戸田粋子、ショムニ会、外山正孝・樋口明裕、衣丘小学校父母教師会、ナースリーハウス、狸山スマイルカフェ

東日本大震災義援金実績(平成26年6月30日現在) 金額：133,145,436円 1,850件
この他にも匿名で多くのご寄付をいただきました。本当にありがとうございます。